

第3点目は、中核市への重点的支援の必要性について、である。

同性間対策に取り組むうえでの障壁・課題については、「具体的方法の欠如」、「個別化して行う余裕のなさ」、「NGO連携の困難」などを課題としてあげる自治体が多く見られた。特に中核市においては、すべての項目で課題を感じている状況があり、同性間対策の必要性がありながら導入できていない実態には理由があると考えられる。

第4点目として、同性間対策の導入に当たったNPOの活用について、である。

自治体は、対象の同性愛者が不可視（実態がどのようになっているのかよく見えない）であり、コミュニティへのアプローチ方法もわからない、など戸惑いは大きい。また、自治体では、担当者が交代するため、同性間対策のノウハウが未だ蓄積されていないといった問題もある。そうした際には、対象層について、同性間の啓発に取り組むNPOからコンサルテーションを受ける、ということから取り組むことが可能となる。それが、同性間対策導入の第一歩であると考えられる。

#### 自治体との事業連携

地方自治体とNGOの事業連携の事例では、事業が定着していることを予算計上という面からとらえ、予防指針の施行後現在までに、どのような年次経過できているのか、自治体の事業内容やNGOの在不在、委託先について整理を行った。

さらに、具体的なNGOとの連携について検討をしたい自治体に対する資料として、地方都市とNPOの連携事例の記録を資料化した。

そして、その資料をもとに、地方都市連携モデルを試作した。このモデルは、事業年度をはさんで、2年度の、再評価、モニタリング、事業計画の見直しという最小でも3年度計画となっている。

こうした資料やモデルは、同性間対策に未着手の自治体、NGOとの連携実績のない自治体担当者にとって、取り組みの一助となることが期待される。そのため、次年度以降は、さらに、①複数の自治体との連携の記録、②同性間対策には限定しない自治体とNGOとの連携実践の記録分析により、モデルの完成を果たし、行政

-NGO連携による同性間対策の実践マニュアルの作成に向けたデータを集積していく考えである。

#### E. 結論

本研究は、MSMを対象とする予防啓発の実施を通じ、NPOの立場から「コミュニティ」「行政」のそれぞれに対して教育・支援を行い、相互の「連携」を促進することにより、地方自治体とコミュニティそれぞれが、最終的に各地域で自立的に連携をとり、地域に応じた同性間対策の実施が可能となる環境をつくりあげていくことをねらっている。

研究初年度は、予防啓発の実施、教育・支援、連携促進が、効果的になされるための実態調査、手法の試験的運用、連携の実際例からモデルの作成を行った。本年度の研究成果は以下の6点が挙げられる。

1. 予防啓発プログラムの実践を全国で実施し、研究と実践をリンクさせた取り組みにより、啓発の実施・実態調査・ボランティア教育・コミュニティ開発・行政連携のモデル化、と多様な取り組みを開始できた。
2. MSM対象の予防啓発プログラムLIFEGUARDを実施する前のベースライン調査（13年度）と、15～17年度の調査結果とを比較することで、予防啓発プログラムへの参加者の変化や傾向について確認できた。
3. 質問票調査によりMSMの実態と性行動やネットワークの特徴を把握し、今後の介入に役立てる実態が把握された。
4. 地域内に既存のNGOやCBOがない地域にて同性間対策を行えるよう、コミュニティへの教育や開発のできる手法の開発に着手でき、一部地域では実践レベルの従事者を養成できている。
5. 地方公共団体の同性間対策の実施状況では、5年前の実施よりも必要性の認識は進んできているが、予算化（事業化）につながらっていない現状と、中規模都市に対する取り組み強化の必要性が明らかになった。
6. 実践を通じた、地方都市連携モデルを試作することができた。未だ同性間対策に十分取り組みを行えていない中規模都市での

同性間対策導入のモデルとなることが期待される。

また、今後の研究課題としては、以下の5点があげられる。

1. MSM の中でもリスクのある性行動をとる人の傾向として、①出張・旅行先での性行為が活発な層、②薬物を使用している層、③若年層がわかった。彼らにリスク行動をとらせている背景や要因、その他の関係する因子について明らかにし、より効果的な介入効果をもたらすために、さらなる調査を進める必要がある。
2. 同性間対策の普及のためにコミュニティ開発と教育を行うという新たな観点に立つことができたが、これらの実施はまだプレ実施段階であり、今後、形態的・プロセス的評価を行い、内容を精査し、どの地域でも実施できるような形にしていく必要がある。
3. MSM の中でもコミュニティへの関与状況において「コミュニティ内行動活発層」「ネットワーク広範層」の特性が明らかになってきたが、今後は、そうした条件をもつ者が予防啓発に従事できるよう、焦点化したリクルートと教育手法を開発していく必要がある。
4. 同性間対策の進んでいる地方公共団体や、施策の種類別の実施率の分析から、同性間対策の推進段階の存在が伺えた。それは、検査相談環境の整備に始まり、啓発資材の開発、行動変容という段階論である。今後、同性間対策の実施マニュアルを作成できるよう、施策化の実働するメカニズムと阻害因子について、事例をもとに質的にも明らかにしていく必要がある。
5. NGO と行政の連携による同性間対策の普及事例が蓄積された。今後は全国一律ではなく、地方公共団体固有の状況に応じた同性間対策の実施方法を検討する必要がある。さらに、事例を重ね、同性間対策の推進段階をふまえた提言や支援を行うためのヒントを得て、事業連携マニュアルに活用していく考えである。

## F. 健康危険情報

なし

## G. 研究発表

### 1. 論文発表

- 1) 柏崎正雄、「国際エイズ会議の概要と日本からの参加報告」、日本エイズ学会誌、Vol.9 No.1、pp. 62-64、2007年
- 2) 中川重徳、永野靖、森野嘉郎、「HIV 感染者に関する法的観点」、日本エイズ学会誌 Vol. 8 No3、pp.136-139、2006年

### 2. 学会発表

- 1) Hiromi Hatogai , Kenji Shimada , Arashi Fujibe , S Ota , Keizo Miyachika , Hiroshi Niimi , Kazuya Kawaguchi, Masao Kashiwazaki “Evaluation of Safer Sex Workshop for MSM at Gay Bars in 14 prefectures in Japan” XVI International AIDS Conference 2006
- 2) A Fujibe , K Miyachika , S Ota , K Shimada , H Hatogai , H Niimi , M Kashiwazaki , K Kawaguchi “Building Relationship with Gay Bars Made It Possible: “LIFEGUARD” , Safer Sex Workshop for MSM in 14 Prefectures” XVI International AIDS Conference 2006
- 3) 藤部荒術、嶋田憲司、嶋貝啓美、新美広、宮近敬三、柏崎正雄。ゲイを対象としたワークショップ『LIFEGUARD』普及—全国23ヶ所での実施とコミュニティ・アウトリーチプロセス。第20回日本エイズ学会学術集会口演発表、2006年
- 4) 嶋田憲司、柏崎正雄、嶋貝啓美、新美広、太田昌二、藤部荒術、河口和也。ゲイを対象としたワークショップ「LIFEGUARD」の効果—継続介入とクチコミ普及の分析—。第20回日本エイズ学会学術集会口演発表、2006年

## H. 知的財産権の出願・登録状況

なし

## 添付資料

## 資料1【MSM 対策の文献研究一覧—第 16 回国際エイズ会議にて収集】

日付	コード	種別	Web	キーワード	タイトル
8月13日	SUSA27	Satellite	<a href="http://www.aids2006.org/PAG/PSession.aspx?SessionID=807">http://www.aids2006.org/PAG/PSession.aspx?SessionID=807</a>	予防	Strategies for the South: Building synergies in HIV/AIDS and Sexual and Reproductive Health and Rights
8月13日	SUSA24	Satellite	<a href="http://www.aids2006.org/PAG/PSession.aspx?SessionID=807">http://www.aids2006.org/PAG/PSession.aspx?SessionID=807</a>	予防	Gender, Culture, and Male Sexual Identities: Implications for HIV/STI Prevention
8月13日	MOPE0382	poster	<a href="http://www.iasociety.org/abstract/abstract.asp?abstract_id=2178935">http://www.iasociety.org/abstract/abstract.asp?abstract_id=2178935</a>	疫学	A current view of the HIV epidemic among Latino gay men in the U.S.
8月13日	MOPE0467	poster	<a href="http://www.iasociety.org/abstract/abstract.asp?abstract_id=2183884">http://www.iasociety.org/abstract/abstract.asp?abstract_id=2183884</a>	疫学	Internet as a new venue to access high-risk men who have sex with men (MSM) from a resource-constrained setting
8月13日	MOPE0498	poster	<a href="http://www.iasociety.org/abstract/abstract.asp?abstract_id=2179985">http://www.iasociety.org/abstract/abstract.asp?abstract_id=2179985</a>	疫学	Trends in sexually transmitted diseases, sexual risk behavior, and HIV infection among Asian/Pacific islander men who have sex with men, San Francisco, 1999-2004
8月13日	MOPE0508	poster	<a href="http://www.iasociety.org/abstract/abstract.asp?abstract_id=2189448">http://www.iasociety.org/abstract/abstract.asp?abstract_id=2189448</a>	疫学	Trends in HIV incidence among men who have sex with men in Ontario, Canada 1993-2004
8月13日	MOPE0547	poster	<a href="http://www.iasociety.org/abstract/abstract.asp?abstract_id=2189823">http://www.iasociety.org/abstract/abstract.asp?abstract_id=2189823</a>	疫学	High HIV prevalence in a counseling, rapid testing, and referral program in Newark, New Jersey
8月13日	MOPE0611	poster	<a href="http://www.iasociety.org/abstract/abstract.asp?abstract_id=2179780">http://www.iasociety.org/abstract/abstract.asp?abstract_id=2179780</a>	男性SW、アウトリーチ	Internet based outreach strategies targeting marginalised groups on the basis of HIV- and STI prevention among (male) sex workers
8月14日	MOAC01	Abstract Session	<a href="http://www.aids2006.org/PAG/PSession.aspx?SessionID=204">http://www.aids2006.org/PAG/PSession.aspx?SessionID=204</a>	予防	What is Working (or not) for HIV Prevention Among MSM?
8月14日	MOSA16	Satellite	<a href="http://www.aids2006.org/PAG/PSession.aspx?SessionID=315">http://www.aids2006.org/PAG/PSession.aspx?SessionID=315</a>	予防	Where Is the Pleasure in Safer Sex?
8月14日	TUPE0215	poster	<a href="http://www.iasociety.org/abstract/abstract.asp?abstract_id=2182548">http://www.iasociety.org/abstract/abstract.asp?abstract_id=2182548</a>	ゲイバー、MSM	Men's sexual health testing and health services at gay bars
8月14日	TUPE0280	poster	<a href="http://www.iasociety.org/abstract/abstract.asp?abstract_id=2188083">http://www.iasociety.org/abstract/abstract.asp?abstract_id=2188083</a>	疫学	Herpes simplex virus types 1 and 2 (HSV-1 and HSV-2) and HIV infection in homosexual men: data from the HIM cohort
8月14日	TUPE0300	poster	<a href="http://www.iasociety.org/abstract/abstract.asp?abstract_id=2184598">http://www.iasociety.org/abstract/abstract.asp?abstract_id=2184598</a>	疫学	A strong link between syphilis and HIV in men who have sex with men (MSM)
8月14日	TUPE0307	poster	<a href="http://www.iasociety.org/abstract/abstract.asp?abstract_id=2183973">http://www.iasociety.org/abstract/abstract.asp?abstract_id=2183973</a>	疫学	Characteristics of newly HIV-diagnosed men having sex with men (MSM) 2005 at Venhalsan, gay men's health clinic at Karolinska University Hospital, dept. of infectious disease, Stockholm, Sweden
8月14日	TUPE0317	poster	<a href="http://www.iasociety.org/abstract/abstract.asp?abstract_id=2181514">http://www.iasociety.org/abstract/abstract.asp?abstract_id=2181514</a>	疫学	Men who have sex with men in Britain: a comparison of national probability and self-selected Internet samples
8月14日	TUPE0318	poster	<a href="http://www.iasociety.org/abstract/abstract.asp?abstract_id=2182544">http://www.iasociety.org/abstract/abstract.asp?abstract_id=2182544</a>	疫学、インターネット	Dropping out of an online survey of sexual behaviour among MSM
8月14日	TUPE0434	poster	<a href="http://www.iasociety.org/abstract/abstract.asp?abstract_id=2188178">http://www.iasociety.org/abstract/abstract.asp?abstract_id=2188178</a>	PEP	Previous use of non-occupational post exposure prophylaxis against HIV (NPEP) and subsequent HIV infection in homosexual men: data from the HIM cohort
8月14日	TUPE0437	poster	<a href="http://www.iasociety.org/abstract/abstract.asp?abstract_id=2184948">http://www.iasociety.org/abstract/abstract.asp?abstract_id=2184948</a>	PEP	Accessing post-exposure prophylaxis (PEP) after sexual risk: the experiences of homosexually active men in England
8月14日	TUPE0453	poster	<a href="http://www.iasociety.org/abstract/abstract.asp?abstract_id=2186063">http://www.iasociety.org/abstract/abstract.asp?abstract_id=2186063</a>	リスクアセスメント	Life stress increases sexual risk behaviour and risk for HIV infection among younger MSM: results from the polaris HIV seroconversion study
8月14日	TUPE0461	poster	<a href="http://www.iasociety.org/abstract/abstract.asp?abstract_id=2188548">http://www.iasociety.org/abstract/abstract.asp?abstract_id=2188548</a>	MSM	Advance preparation for safer sex reduces the likelihood of nonpremeditated risk-taking that prevails among men who have sex with men (MSM)
8月14日	TUPE0469	poster	<a href="http://www.iasociety.org/abstract/abstract.asp?abstract_id=2185805">http://www.iasociety.org/abstract/abstract.asp?abstract_id=2185805</a>	予防啓発	Belief systems associated with ongoing risky sex among HIV-infected MSM in care: opportunities for new interventions
8月14日	TUPE0470	poster	<a href="http://www.iasociety.org/abstract/abstract.asp?abstract_id=2182797">http://www.iasociety.org/abstract/abstract.asp?abstract_id=2182797</a>	ネットワーク	Social and sexual network characteristics are associated with HIV risk among men who have sex with men (MSM) in Shanghai, China
8月14日	TUPE0471	poster	<a href="http://www.iasociety.org/abstract/abstract.asp?abstract_id=2181724">http://www.iasociety.org/abstract/abstract.asp?abstract_id=2181724</a>	インターネット	Effect of the Internet on serosorting and risky sexual behavior among men who have sex with men M. Berry, H.F. Raymond, S. Behel, T. Sanchez, W. McFarland, United States
8月14日	TUPE0487	poster	<a href="http://www.iasociety.org/abstract/abstract.asp?abstract_id=2183212">http://www.iasociety.org/abstract/abstract.asp?abstract_id=2183212</a>	予防啓発	Sexual restraint to prevent HIV infection promotes safer sex fatigue and risk-taking among men who have sex with men (MSM)
8月14日	TUPE0488	poster	<a href="http://www.iasociety.org/abstract/abstract.asp?abstract_id=2182387">http://www.iasociety.org/abstract/abstract.asp?abstract_id=2182387</a>	予防	Predictors of condom use during most recent anal intercourse among populations of young men who have sex with men in Thailand
8月14日	TUPE0608	poster	<a href="http://www.iasociety.org/abstract/abstract.asp?abstract_id=2185309">http://www.iasociety.org/abstract/abstract.asp?abstract_id=2185309</a>	疫学	HIV testing of men who have sex with men (MSM) from 1999 to 2004 at CDC-supported testing sites: differences by race/ethnicity
8月14日	TUPE0631	poster	<a href="http://www.iasociety.org/abstract/abstract.asp?abstract_id=2188914">http://www.iasociety.org/abstract/abstract.asp?abstract_id=2188914</a>	予防啓発	Innovative strategies to reach out to south Asian men who have sex with men (MSM) but who do not identify as gay/queer: a progressive example of targeted prevention education for marginalized ethnic-specific communities in Canada

日付	コード	種別	Web	キーワード	タイトル
8月15日		Satellite		疫学、予防	HIV Prevention Among Men who have Sex with Men – Deepening and Extending the Response
8月15日	WEKC201	poster	<a href="http://www.aids2008.org/PAG/Abstracts.aspx?AD=10050">http://www.aids2008.org/PAG/Abstracts.aspx?AD=10050</a>	予防	The professional peer – how program structure can creatively respond to increasing complexity in HIV prevention with MSM
8月15日	WEPDD	poster	<a href="http://www.iasociety.org/abstracts/how.asp?abstract_id=2183229">http://www.iasociety.org/abstracts/how.asp?abstract_id=2183229</a>	疫学	Anwerkenhe 4, fourth national Aboriginal and Torres Strait Islander gay, sistergirl and transgender HIV/AIDS sexual health conference
8月15日	WEPE0375	poster	<a href="http://www.iasociety.org/abstracts/how.asp?abstract_id=2184832">http://www.iasociety.org/abstracts/how.asp?abstract_id=2184832</a>	検査	Who returns for HIV test results? Data from the 2005 assessment among populations of men who have sex with men in Thailand
8月15日	WEPE0403	poster	<a href="http://www.iasociety.org/abstracts/how.asp?abstract_id=2182252">http://www.iasociety.org/abstracts/how.asp?abstract_id=2182252</a>	予防啓発	Interactive video (IAV) as an unobtrusive measure of high risk taking among MSM populations uncomfortable with direct discussions of their sexual behavior
8月15日	WEPE0404	poster	<a href="http://www.iasociety.org/abstracts/how.asp?abstract_id=2186810">http://www.iasociety.org/abstracts/how.asp?abstract_id=2186810</a>	アウトリーチ	An integrated HIV outreach & service intervention model for young Latino MSMs: results from a pilot project
8月15日	WEPE0644	poster	<a href="http://www.iasociety.org/abstracts/how.asp?abstract_id=2183028">http://www.iasociety.org/abstracts/how.asp?abstract_id=2183028</a>	MSM	At the end of the day: findings from a multidisciplinary study of men who have sex with men (MSM) in Nigeria – phase
8月15日	WEPE0648	poster	<a href="http://www.iasociety.org/abstracts/how.asp?abstract_id=2183244">http://www.iasociety.org/abstracts/how.asp?abstract_id=2183244</a>	MSM、疫学	Behavioral patterns, identity, and health characteristics of self-identified barebackers: implications for HIV prevention and
8月15日	WEPE0649	poster	<a href="http://www.iasociety.org/abstracts/how.asp?abstract_id=2189477">http://www.iasociety.org/abstracts/how.asp?abstract_id=2189477</a>	MSM、レスビアン	Providing visibility and facing violence against gays, lesbians, transvestites and transgender: the Brazilian Programme Against Homophobia and in Support of the GLTT Parades
8月15日	WEPE0653	poster	<a href="http://www.iasociety.org/abstracts/how.asp?abstract_id=2188920">http://www.iasociety.org/abstracts/how.asp?abstract_id=2188920</a>	インターネット	Bareback sex and the Internet: MSM who seek men online for intentional unprotected anal intercourse (UAI)
8月15日	WEPE0654	poster	<a href="http://www.iasociety.org/abstracts/how.asp?abstract_id=2180474">http://www.iasociety.org/abstracts/how.asp?abstract_id=2180474</a>	リスクアセスメント	Racial/ethnic differences in gay-identity-related factors and their association with sexual risk among MSM
8月15日	WEPE0661	poster	<a href="http://www.iasociety.org/abstracts/how.asp?abstract_id=2188502">http://www.iasociety.org/abstracts/how.asp?abstract_id=2188502</a>	予防、ユース	Leadership training for gay youth: a strategy for increased engagement in gay men's HIV prevention
8月15日	WEPE0715	poster	<a href="http://www.iasociety.org/abstracts/how.asp?abstract_id=2182308">http://www.iasociety.org/abstracts/how.asp?abstract_id=2182308</a>	予防	Correlates of HIV treatment optimism in a health seeking sample of MSM
8月15日	WEPE0716	poster		疫学	High-risk sex among MSM in South Africa: results from the Gauteng MSM survey
8月15日	WEPE0718	poster	<a href="http://www.iasociety.org/abstracts/how.asp?abstract_id=2186010">http://www.iasociety.org/abstracts/how.asp?abstract_id=2186010</a>	インターネット	Self-reported behavioral change since using the Internet to find sex partners: an online study among MSM in the United States and Canada
8月15日	WEPE0719	poster	<a href="http://www.iasociety.org/abstracts/how.asp?abstract_id=2183388">http://www.iasociety.org/abstracts/how.asp?abstract_id=2183388</a>	疫学	Understanding HIV risk behavior among MSM in Zambia
8月15日	WEPE0720	poster	<a href="http://www.iasociety.org/abstracts/how.asp?abstract_id=2189171">http://www.iasociety.org/abstracts/how.asp?abstract_id=2189171</a>	予防	Initiation of anal penetration and condom use among MSM
8月15日	WEPE0721	poster	<a href="http://www.iasociety.org/abstracts/how.asp?abstract_id=2189137">http://www.iasociety.org/abstracts/how.asp?abstract_id=2189137</a>	疫学	Trends in unprotected anal intercourse among Sydney gay men
8月15日	WEPE0723	poster	<a href="http://www.iasociety.org/abstracts/how.asp?abstract_id=2184513">http://www.iasociety.org/abstracts/how.asp?abstract_id=2184513</a>	予防、治療	Prevention, care and treatment of MSM in Thailand
8月15日	WEPE0724	poster	<a href="http://www.iasociety.org/abstracts/how.asp?abstract_id=2186137">http://www.iasociety.org/abstracts/how.asp?abstract_id=2186137</a>	治療	HAART-related beliefs and UAI with serodiscordant or unknown HIV status partners in a Canadian sample of MSM
8月15日	WEPE0725	poster	<a href="http://www.iasociety.org/abstracts/how.asp?abstract_id=2182228">http://www.iasociety.org/abstracts/how.asp?abstract_id=2182228</a>	リスクアセスメント	Comparisons of HIV risk behaviors between foreign-born and US-born men who have sex with men (MSM) in New York City
8月15日	WEPE0726	poster	<a href="http://www.iasociety.org/abstracts/how.asp?abstract_id=2188592">http://www.iasociety.org/abstracts/how.asp?abstract_id=2188592</a>	予防	Pressured into it" indicators of perceived norms influencing risk in gay men's sexual
8月15日	WEPE0730	poster	<a href="http://www.iasociety.org/abstracts/how.asp?abstract_id=2189077">http://www.iasociety.org/abstracts/how.asp?abstract_id=2189077</a>	リスクアセスメント	Social factors and sexual behaviors associated with repeated incarceration among heroin and crack-using MSM in New York City
8月15日	WEPE0731	poster	<a href="http://www.iasociety.org/abstracts/how.asp?abstract_id=2188552">http://www.iasociety.org/abstracts/how.asp?abstract_id=2188552</a>	リスクアセスメント	Risk behaviors, social support and perceived discrimination of Hong Kong Chinese men who have sex with men (MSM): a comparison between Internetbased vs. venue-based MSM
8月15日	WEPE0732	poster	<a href="http://www.iasociety.org/abstracts/how.asp?abstract_id=2188888">http://www.iasociety.org/abstracts/how.asp?abstract_id=2188888</a>	リスクアセスメント	The role of sexual arousal, partner characteristics, and HIV viral load on HIV+ MSM's intentions to engage in unprotected
8月15日	WEPE0733	poster	<a href="http://www.iasociety.org/abstracts/how.asp?abstract_id=2183038">http://www.iasociety.org/abstracts/how.asp?abstract_id=2183038</a>	リスクアセスメント	Sexual risk behaviors of young MSM in mainland China
8月15日	WEPE0734	poster	<a href="http://www.iasociety.org/abstracts/how.asp?abstract_id=2181948">http://www.iasociety.org/abstracts/how.asp?abstract_id=2181948</a>	予防	Sexual health services for MSM in an African environment: challenges and experiences
8月15日	WEPE0735	poster	<a href="http://www.iasociety.org/abstracts/how.asp?abstract_id=2181089">http://www.iasociety.org/abstracts/how.asp?abstract_id=2181089</a>	リスクアセスメント、予防	Prevention for gay couples: serostatus and agreements about non-main sex partners

日付	コード	種別	Web	キーワード	タイトル
8月16日	THPDC	poster	<a href="http://www.iasociety.org/abstract/s/how.asp?abstract_id=2180754">http://www.iasociety.org/abstract/s/how.asp?abstract_id=2180754</a>	インターネット	Acceptability and utility of a partner notification system for sexually transmitted infection exposure using an internet-based, partner-seeking website for men who have sex
8月16日	THPDC	poster	<a href="http://www.iasociety.org/abstract/s/how.asp?abstract_id=2185016">http://www.iasociety.org/abstract/s/how.asp?abstract_id=2185016</a>	インターネット	Next generation HIV prevention: building highly interactive web-based HIV interventions for men who use the internet to seek sex with
8月16日	THPDC	poster	<a href="http://www.iasociety.org/abstract/s/how.asp?abstract_id=2185079">http://www.iasociety.org/abstract/s/how.asp?abstract_id=2185079</a>	インターネット	Compulsive sexual behavior and risk for unsafe sex in online liaisons for men who use the internet to seek sex with Men: results of the Men病 INTeRnet Sex (MINTS-II) study II
8月16日	THPDC	poster	<a href="http://www.iasociety.org/abstract/s/how.asp?abstract_id=2185388">http://www.iasociety.org/abstract/s/how.asp?abstract_id=2185388</a>	インターネット	Mysexycity.com: a web based HIV prevention intervention for MSM
8月16日	THPDC	poster	<a href="http://www.iasociety.org/abstract/s/how.asp?abstract_id=2189822">http://www.iasociety.org/abstract/s/how.asp?abstract_id=2189822</a>	インターネット	The development of Cyber-Based Education and Referral/Men for Men (CyBER/M4M): a chat room-based intervention to prevent HIV infection among gay men and MSM
8月16日	THPE0256	poster	<a href="http://www.iasociety.org/abstract/s/how.asp?abstract_id=2189828">http://www.iasociety.org/abstract/s/how.asp?abstract_id=2189828</a>	コミュニティレベル	Pride in the city, an innovative community level intervention for black men who have sex
8月16日	THPE0287	poster	<a href="http://www.iasociety.org/abstract/s/how.asp?abstract_id=2182569">http://www.iasociety.org/abstract/s/how.asp?abstract_id=2182569</a>	インターネット	A successful online behavioral intervention for men who have sex with men (MSM)
8月16日	THPE0317	poster	<a href="http://www.iasociety.org/abstract/s/how.asp?abstract_id=2181368">http://www.iasociety.org/abstract/s/how.asp?abstract_id=2181368</a>	コミュニティ	Attitudinal impediments and facilitators associated with using evidence-based models for HIV prevention at African American community-based organizations
8月16日	THPE0346	poster		ドラッグ	Methods and innovation in harm reduction: the Late Night Breakfast Buffet (LNBB)
8月16日	THPE0448	poster	<a href="http://www.iasociety.org/abstract/s/how.asp?abstract_id=2185308">http://www.iasociety.org/abstract/s/how.asp?abstract_id=2185308</a>	クリニック、実践	Establishing a low threshold health clinic for MSM in Oslo, Norway - responding to the increase of HIV infections among MSM
8月16日	THPE0449	poster	<a href="http://www.iasociety.org/abstract/s/how.asp?abstract_id=2185246">http://www.iasociety.org/abstract/s/how.asp?abstract_id=2185246</a>	PEP	Feasibility of easy post-exposure prophylaxis (PEP) for HIV prevention in high-risk men
8月16日	THPE0451	poster	<a href="http://www.iasociety.org/abstract/s/how.asp?abstract_id=2185930">http://www.iasociety.org/abstract/s/how.asp?abstract_id=2185930</a>	インターネット	An evidence-based approach to designing appropriate and effective internet-based HIV prevention interventions: results of the men's INTeRnet sex (MINTS-II) study II needs assessment
8月16日	THPE0452	poster	<a href="http://www.iasociety.org/abstract/s/how.asp?abstract_id=2189849">http://www.iasociety.org/abstract/s/how.asp?abstract_id=2189849</a>	予防	Na Ferveção - project: "In the heat of the moment": a social technology proposal for prevention with men who have sex with men (MSM) in Brazil
8月16日	THPE0453	poster	<a href="http://www.iasociety.org/abstract/s/how.asp?abstract_id=2186600">http://www.iasociety.org/abstract/s/how.asp?abstract_id=2186600</a>	予防	HIV-prevention coverage and service utilization patterns of men who have sex with men (MSM) in Bangkok, Thailand
8月16日	THPE0463	poster	<a href="http://www.iasociety.org/abstract/s/how.asp?abstract_id=2188791">http://www.iasociety.org/abstract/s/how.asp?abstract_id=2188791</a>	行政研究 NGO連携	Ontario's gay men's HIV prevention strategy: multi-stakeholder decisionmaking as the foundation for a collaborative, evidence-informed HIV prevention strategy targeted to gay, bisexual, trans and other MSM
8月16日	THPE0464	poster	<a href="http://www.iasociety.org/abstract/s/how.asp?abstract_id=2183500">http://www.iasociety.org/abstract/s/how.asp?abstract_id=2183500</a>	予防	Mobilising an environment for positive norms towards safer sex among men who have sex with other men (MSM)
8月16日	THPE0467	poster	<a href="http://www.iasociety.org/abstract/s/how.asp?abstract_id=2182785">http://www.iasociety.org/abstract/s/how.asp?abstract_id=2182785</a>	MSM、予防	An assets-based approach to HIV prevention programming
8月16日	THPE0471	poster	<a href="http://www.iasociety.org/abstract/s/how.asp?abstract_id=2188821">http://www.iasociety.org/abstract/s/how.asp?abstract_id=2188821</a>	予防	Project "diverse pleasures" - extending HIV/AIDS prevention among homosexual men and other men who have sex with men (MSM) in southern
8月16日	THPE0474	poster	<a href="http://www.iasociety.org/abstract/s/how.asp?abstract_id=2185808">http://www.iasociety.org/abstract/s/how.asp?abstract_id=2185808</a>	予防	New approaches in prevention among men who have sex with men (MSM) in Brazil: the experience of project "partners forever"
8月16日	THPE0477	poster	<a href="http://www.iasociety.org/abstract/s/how.asp?abstract_id=2180554">http://www.iasociety.org/abstract/s/how.asp?abstract_id=2180554</a>	評価	Condom social marketing for men who have sex with men (MSM) in the city of São Paulo, Brazil: an ex-ante and postante statistical evaluation analysis
8月16日	THPE0695	poster	<a href="http://www.iasociety.org/abstract/s/how.asp?abstract_id=2183013">http://www.iasociety.org/abstract/s/how.asp?abstract_id=2183013</a>	ドラッグ	Use of combinations of stimulants, poppers and PDE5 inhibitor drugs predicts HIV seroconversion among MSM in the multicenter AIDS cohort study (MACS)
8月16日	THPE0701	poster	<a href="http://www.iasociety.org/abstract/s/how.asp?abstract_id=2189184">http://www.iasociety.org/abstract/s/how.asp?abstract_id=2189184</a>	ドラッグ	Is use of crystal methamphetamine associated with increased HIV risk behaviors for Hispanic MSM in Miami?
8月16日	THPE0706	poster	<a href="http://www.iasociety.org/abstract/s/how.asp?abstract_id=2182256">http://www.iasociety.org/abstract/s/how.asp?abstract_id=2182256</a>	ドラッグ、疫学	Who's next? HIV seroconversion in gay and bisexual club drug users
8月16日	THPE0715	poster	<a href="http://www.iasociety.org/abstract/s/how.asp?abstract_id=2189835">http://www.iasociety.org/abstract/s/how.asp?abstract_id=2189835</a>	疫学、リスク アセスメント	Substance use among gay men in Israel: an internet based study
8月16日	THPE0962	poster	<a href="http://www.iasociety.org/abstract/s/how.asp?abstract_id=2189829">http://www.iasociety.org/abstract/s/how.asp?abstract_id=2189829</a>	ドラッグ	Estimated scope of crystal methamphetamine use among men who have sex with men in Vancouver: implications for allocating limited harm reduction resources
8月17日	THBS02	Symposium		予防、疫学、 アイデンティ ティ	Emerging and Re-Emerging HIV Epidemics among Gay and non-Gay Identified MSM

## Ⅱ. 分担研究報告書

研究1 予防介入プログラムの評価に関する研究

厚生労働科学研究費補助金(エイズ対策研究事業)  
分担研究報告書  
研究1 予防介入プログラムの評価に関する研究

分担研究者：河口 和也（広島修道大学 人文学部 教授）  
研究協力者：太田 昌二（特定非営利活動法人 動くゲイとレズビアンの会）  
岡島 克樹（大谷女子大学 人間社会学部 専任講師）  
柏崎 正雄（財団法人 エイズ予防財団）  
新美 広（特定非営利活動法人 動くゲイとレズビアンの会）  
鳩貝 啓美（特定非営利活動法人 動くゲイとレズビアンの会）  
藤部 荒術（特定非営利活動法人 動くゲイとレズビアンの会）  
宮近 敬三（特定非営利活動法人 動くゲイとレズビアンの会）

### 研究要旨

同性間対策の各地への普及を目標に、コミュニティ・ディベロップメント概念に基づき、コミュニティの側にある課題を取り扱った。本研究では、①MSM の性行動や社会的な行動実態を把握し、②コミュニティと行政が連携して啓発にあたるコミュニティ開発手法（人的資源への教育を含む）を明らかにし、③コミュニティの活性化により予防介入を継続実施できる基盤の構築、を研究目的とした。

大石班（平成12年～17年）で開発された同性間の啓発プログラム LIFEGUARD を引き続き全国21箇所へ普及し、参加者に対する性行動とソーシャルネットワークの実態調査を行った。また、13年度に実施したリスクアセスメント調査をベースライン調査とし、15～17年度に行った質問票調査との縦断分析を行い、介入対象となるMSMの知識などの変化、特徴について分析をした。さらに、態度・性行動やコミュニティ参加に関する調査データから、MSMがセイファードによって、どのような特徴をもつかについて確認し、今後の介入に活かされるデータを得た。

一方、コミュニティの開発手法と予防啓発のための基盤構築については、コミュニティ開発・教育手法の計画立案として、①地域外からコミュニティへのアクセス、②コミュニティ内部への教育、③コミュニティと行政間の連携支援について研究を行い、記録化と教育手法のプレ実施を行った。また、啓発実施者教育手法の計画立案として、啓発実施者教育を汎用化できるモデル構築のために、①啓発教育のモデルを試作し、②啓発実施者へのHIV知識・コミュニケーション技術研修などの教育手法のプレ実施を行った。

### A. 研究目的

平成18年、エイズ予防指針が改正施行され、同性間感染の個別施策層対策は、いっそうの強化が望まれている。

そこで、本研究では、同性間対策を各地へ普及することを目標とし、予防介入プログラムの評価に関する研究に取り組んだ。

従来の研究では、同性間対策の普及にあたっては、各地の実態やニーズに適合した、効果ある予防介入プログラムの選択肢が増えることがその普及に貢献する、と仮定し研究を行って

きた。

しかし、知識の増強、意識や態度の変化、行動変容にもつながるような有効な予防介入プログラムが開発されても、それだけでは、各地への普及にはつながらないという実態も明らかになってきた。

各地へと普及される具体的な予防介入プログラムは、その介入効果が評価されていくことはもちろんのこと、予防介入自体の環境面や実施状況、対象者の実態やニーズとの合致がなされているかなどについて、多角的な評価がなされていくことが必要となる。

そのため、本研究では、コミュニティ・ディベロップメントの概念（p4参照）に基づき、同性愛者等のコミュニティの側にある課題を扱い、同性間対策を実施し継続していくための評価を行い、有効な条件を整備することに取り組むこととした。

なお、同性愛者はその成長過程において、異性愛者としての日常空間とは別に、他の同性愛者と出会うために、同性愛者が集う場（性的な出会いも含めて）を利用することがある。本研究では、コミュニティを以上のような場と定義することにする。

そして、コミュニティにおける課題については、具体的に以下の4点を設定している。

- a. 行動変容を重視した啓発プログラムの実施
- b. 同性愛者コミュニティの状況の把握
- c. コミュニティ内のネットワークの活性化
- d. コミュニティ内の人的資源への教育

そのうえで、以下の3点を研究目的とした。

- ①介入対象となる MSM の性行動や社会的な行動の実態を把握し、予防効果のより高い介入に活かすこと
- ②コミュニティと行政が連携して啓発にあたえられるような「コミュニティ」の開発手法を明らかにすること（人的資源の活用、教育方法を含む）
- ③コミュニティの活性化を行い、予防介入が継続される基盤を構築すること

## B. 研究方法

コミュニティに対する「教育と開発」を主眼にすえ、以下の研究方法を採用した。目的との対照では、①に対して方法2、3、4、②に対して方法4、5、③に対して方法1、2を採用した。

### 1. 啓発プログラム LIFEGUARD の全国各地での普及

ワークショップ型啓発手法 LIFEGUARD を全国に、プログラム普及した。その際、以下の4つに焦点を当てた。

- ① 同性愛者個人の行動変容を目的とした啓発
- ② 全国各地域での実施
- ③ 多様な人口規模の都市での実施
- ④ MSM 人口の集中する東京において、新宿での啓発に加えて、商業施設の存在する他地域での実施を拡大

### 2. 質問票調査による効果評価と実態調査

LIFEGUARD の介入効果の評価を行った。それとあわせて、LIFEGUARD の介入対象への影響のみならず、そこから介入効果が拡大していく効果の増進を目指し、実態調査を行った。

実態調査は、質問票調査により、HIV 予防介入プログラムの介入対象者に対して行われた。コミュニティへのクチコミ普及（二次的普及）を促進する条件を調査することを目標に、本年度は、介入対象のコミュニティとの関係、コミュニティ構成員の動向、行動特徴について把握することを目的になされた。

介入効果の評価は、プログラム開始前・直後・1ヶ月後で行ってきたが、さらに長期の介入効果を追跡評価できるよう、3ヶ月後の追跡調査を試験的に実施した。

### 3. MSM の性行動の実態とネットワークの評価・分析

「すべての戦略的計画は、顧客（対象者）行動の理解から始めることが不可欠である」（Philip Kotler ら）と述べられているように、同性間対策のあり方も、対象者の行動理解が計画の緒となる。

しかし、MSM の予防行動については、必要な対象層の特徴、行動、メディア選択、知覚、態度などについてのデータが少なく、対象層である MSM の複雑な行動と態度をふまえた対策の策定が困難な状況にある。

そこで効果的な予防プログラムの実施と同性間対策の策定にあたって必要なデータを収集することを目的に、過去3年間（H15～17年）に啓発プログラム LIFEGUARD に参加したのべ1,356名から得た質問票調査の回答により、同性愛者の性行動やネットワークについて縦断・横断的分析を行った。

まず、3年度の調査結果の縦断分析を行った。それにより、プログラムに自主的に参加してくる対象層のプロフィールの変化（年齢、介入地



域)、啓発領域である感染知識の保有状況の変化、参加を促進するアクセス方法を評価し、コミュニティの構成状況を推測するために媒体の推移について明らかにした。

次に、平成 17 年度のデータをもとに介入前の性行為のセーフティー度で群化し、セーフティーな層およびリスクな層の特徴を、知識、ソーシャルネットワーク、コミュニティ関与の側面から多面的に明らかにした。

最後に、対象層のコミュニティ参加状況の実態を明らかにし、対象層の実態と課題を明らかにした。

#### 4. コミュニティ開発・教育手法の計画立案

同性間対策の普及において、コミュニティの関与度が高いプログラム(コミュニティの協力がなくしては十分な効果をもって実施できない)としては、以下の2つが想定される。

- ①LIFEGUARD のような行動変容への効果が期待されるワークショップ
- ②直接同性愛者のもとに出向いて予防情報を届けるアウトリーチ(※) 介入

※ アウトリーチとは、単に資材など啓発資材配布に止まらず、情報の理解促進のための教育手法の提供と性行動や性的指向をめぐる現実の悩みについてのフォローアップ介入まで、幅広い支援を提供し得る方法である。そうした個々の背景にも触れ対応することが、より予防教育に有効であると考えられる

以上のような予防介入プログラムを全ブロック地方に普及し、行動変容の効果を波及させるためには、そこに関わるコミュニティ自体の開発と、教育を行うことが重要である。なぜなら、そこに当事者が存在さえしていれば、その当事者が即行政との連携可能な資源や展望をもち、予防啓発が可能な連携ネットワークが作られるというのではないためである。

そこで、本年度は、コミュニティと行政との連携を可能とするために、①外部からコミュニティへのアクセス、②コミュニティ内部への教育、③コミュニティと行政間連携の支援、の3点について、モデル化を目指した実践と記録化、モデルをもとにした実践事例検討を行った。

#### 5. 啓発実施者教育手法の計画立案

同性間対策が普及し、コミュニティの構成員自身が HIV 予防のための基礎的な知識・教育を受ける機会をもつためには、啓発実施者に対する教育も重要となる。この点は、青少年対策におけるピア教育と同様、当事者による教育の効果は、専門家による教育とは違った意味で、効果が大きいためである。

本年度は、啓発実施者をはじめ本格的に育成する視点で取り組みを開始し、特に以下の3点を重視した実践を行った。

- ① 地域 CBO 組織の育成・強化
- ② 地域コミュニティへの知識・情報の提供
- ③ コミュニティ構成員への教育・訓練機会の提供

その際、啓発実施者教育を汎用化できるモデル構築を目標として、文献研究より啓発教育のモデルを試作し、具体的な啓発実施者への HIV 知識・コミュニケーション技術研修、実地研修等を実施した。

(倫理面への配慮)

「疫学研究に関する倫理指針」を遵守する。調査対象者には調査の主旨について十分な説明と同意を得てインタビュー、質問票調査を行い、研究に対し異議がある場合には、拒否できる機会を保障する。また、個人が不利益を受けることのないよう、プライバシーには特段の配慮を行う。さらに、本研究事業全体を通して、個別施策層である同性愛者等に対しては社会的な偏見や差別を受けやすいことへの特段の配慮をもって、対応していくこととする。

## C. 研究結果

### 1. 啓発プログラム LIFEGUARD の全国各地での普及

#### (1) 普及実施状況

##### ①全国各地方での実施

全国のすべての地方での実施を視野に、多様な人口規模の都市での実施を計画したうえで、バー介入ワークショップ型啓発手法 LIFEGUARD を、全6地方、21箇所(北海道：札幌、東北：仙台、関東：東京・埼玉・川崎、中国四国：広島・愛媛・香川、九州：福岡、北九州：那覇、沖縄)で介入を実施した。

実施期間は2006(平成18)年10月1日～2007(平成19)年2月28日であった。普及実施地域および参加人数は、表1の通りである。介入対象は合計のべ535名、平均25.5名、平均年齢29.3歳(プレN=454)であった。

表1【LIFEGUARDの全国での普及状況】

日	曜日	地域	地方ブロック	人数
10/1	日	東京E	東京	34
10/14	土	北海道I	北海道・東北	23
10/15	日	北海道B	北海道・東北	13
10/22	日	東京S	東京	25
10/28	土	宮城B	北海道・東北	25
11/4	土	沖縄S	九州	36
11/5	日	沖縄O	九州	19
11/12	日	東京M	東京	29
11/19	日	東京S	東京	28
11/24	金	愛媛B	中国・四国	34
11/25	土	香川L	中国・四国	27
12/2	土	東京F	東京	33
12/3	日	埼玉Z	関東・甲信越	29
12/9	土	福岡D	九州	31
12/10	日	福岡M	九州	20
12/16	土	東京Z	東京	26
12/17	日	神奈川M	関東・甲信越	6
12/23	土	広島Z	中国・四国	34
2/18	日	東京A	東京	32
2/25	日	東京R	東京	19
2/28	水	東京SM	東京	12
				535

また、本年度のLIFEGUARDは、添付資料(表A)のような内容構成で実施をした。

本年度も様々な人口規模の都市での実施がなされた。

##### ②東京都内の地域の選択

全国の各地方への普及(横への拡大)とは別に、一定の地域への普及深化(縦の拡大)を試

行し、同性間感染者数の報告が最も集中する東京での取り組みを行った。

その結果、同性愛者向けの商業施設が最も集中する新宿、若者の集まる渋谷に加えて、新たな地域への普及を開始することができた。

1つは、発症による感染把握が増加している中高年層へのアプローチとして、上野を選択、実施した。2つ目に、サラリーマン層の20～30代層へのアプローチとして、新橋を選択し介入を行った。なお、新橋では、本地域の対象層の行動特徴をふまえ、初めて平日の実施に取り組んだ。

### 2. 質問票調査による効果評価と実態調査

#### (1) プログラム評価

質問票調査により、プログラム開始前(プレ)・直後(ポスト)・1ヶ月後(フォロー)の効果評価を継続実施した。評価の指標としては、①感染に関する知識、②リスク要因(リスク行動に相関する因子)、③性行動を設定し、プレ・ポスト・フォローの各テスト間の数値を分散分析により比較を行った。

その結果は、添付資料(表B)のようになった。すなわち、すべての①感染に関する知識、②リスク要因において、プレポストフォロー間の数値には有意な差(または有意な傾向)が認められ、③性行動においては、一部の項目(今年度の介入では、特定の相手とのオーラルセックス、コンドームを携帯する割合)でプレフォロー間での有意な差が確認された。

#### (2) プログラム評価(追跡調査)の試行

ワークショップ型啓発手法LIFEGUARDは、Eメール質問票調査により、介入後1ヶ月後の評価を行っていた。本年度は、プログラムの介入効果の持続をさらに追跡できるため、この追跡調査(フォローアップテスト)を、新たに3ヶ月後について実施できるかどうか試行を行った。

そのために、追跡調査用の回答システムのプログラム変更を行い、また新たに3ヶ月後の調査項目の見直しを行った。

試験実施した質問票調査の回収結果は添付資料表の通りである。3ヶ月追跡については、回収が1ヶ月に比べ、低い結果であり十分なサ

サンプル収集が困難だったため、介入前と追跡後での比較分析は行わない。

### (3) 同性愛者の実態調査

介入対象のコミュニティとの関係、コミュニティ構成員の動向、行動特徴について把握するため、質問票調査を行った。(添付資料C)

調査回答者は、LIFEGUARD 参加者のうち、プレテストに回答した 453 名、ポストテストに回答した 454 名である。

#### ① 同性愛者のコミュニティの実態

LIFEGUARD 参加者のコミュニティ内の動向を推測するために、プログラムについての情報にどこで曝されていたかについて調べた結果は、表2のようになった。

表2【プログラム参加の情報入手元】

	N	有効パーセント (有効回答449)
ちらし(ゲイバー)	188	41.9
ちらし(ハッテンバ)	6	1.3
ちらし(バラエティショップ)	7	1.6
ちらし(NGO)	29	6.5
ちらし(イベント)	12	2.7
ちらし小計	242	53.9
HP(ゲイ専用総合サイト)	69	15.4
HP(LIFEGUARD公式)	43	9.6
HP(会場のゲイバー)	11	2.4
インターネット小計	123	27.4
ゲイマガジン	5	1.1
人(カレシ)	11	2.4
人(セフレ)	1	0.2
人(友だち)	81	18.0
人(スタッフやメンバー)	111	24.7
人(会場のバーマスター)	77	17.1
クチコミ小計	281	62.6
その他	16	3.5

小分類では、ちらしが 53.9% (N=242)、インターネット 27.4% (N=123)、ゲイマガジンが 1.1% (N=5)、人を介したクチコミが 62.6% (N=281)、その他が 3.5% (N=16) となった。

インターネットによる情報交換が盛んな現代ではあるが、プログラムの参加に至る情報入手元としては、クチコミをあげる者が最多であった。

また、コミュニティとの関わりを確認するため、ゲイの友だちの人数、セックスの相手の人数(過去6ヶ月)と、コミュニティについて、ゲイバー、ハッテンバ、インターネットの利用頻度を調査した。

その結果は、表3～7のような結果となった。

表3【ゲイの友だちの人数】

	N	有効パーセント (有効回答406)
0人	12	3.0
1-5人	88	21.7
6-10人	69	17.0
11人以上	237	58.4
欠損値	47	
合計	453	

表4【セックスの相手の人数(過去1年)】

	N	有効パーセント (有効回答396)
0人	60	15.2
1-5人	239	60.4
6-10人	49	12.4
11人以上	48	12.1
欠損値	57	
合計	453	

表5【ゲイバーの利用頻度】(過去半年)

	N	有効パーセント (有効回答394)
まったくない	65	16.5
1ヶ月に1回未満	97	24.6
月に数回	89	22.6
週1回くらい	90	22.8
週数回、ほとんど毎日	53	13.5
欠損値	59	
合計	453	

表6【ハッテンバの利用頻度】(過去半年)

	N	有効パーセント (有効回答370)
まったくない	241	65.1
1ヶ月に1回未満	89	24.1
月に数回	31	8.4
週1回くらい	6	1.6
週数回、ほとんど毎日	3	0.8
欠損値	83	
合計	453	

表7【インターネットの利用頻度】(過去半年)

	N	有効パーセント (有効回答372)
まったくない	194	52.2
1ヶ月に1回未満	88	23.7
月に数回	37	9.9
週1回くらい	26	7.0
週数回、ほとんど毎日	27	7.3
欠損値	81	
合計	453	

友だちやセックスの相手の人数については、以上のような分布であり、「全くいない」を0、「1-5人」を2、「6-10人」を3、「11人以上」を4として回答してもらったところ、平均は、友だちが 3.31 (N=406, SD=0.909)、セックス

の相手が 2.21 (N=396、SD=0.846) であった。

なお、コミュニティの利用頻度は、予防プログラムの会場である「ゲイバー」が最多で、ついで「インターネット」「ハッテンバ」の順であった。

主に性的な出会いの場であるハッテンバの利用頻度は、34.9% (N=129) が1回以上利用しており、予防プログラムがハッテンバ利用層へもアプローチできている実態が確認された。

## ②コミュニティ構成員の動向

予防プログラムへの参加の動機を尋ねたところ、結果は表8のようになった。

「エイズへの関心をもって参加」している層は 47.4% (N=213) と半数に満たず、プログラムの構成に含まれている「検査」や「感染者や感染した後の生活」に関心をもって参加する者とは分散していた (各 21.2%、23.4%)。

さらに、「誘われたから」というクチコミや人との関係による者が 38.8% (N=174)、「何となく」参加した者が 19.6% (N=88) いることなど、このプログラムが、エイズへの関心を強くもたない層に対しても、情報流通のネットワークを活用して、介入し得ていることが伺える。

表8【予防プログラム参加の動機】

	N	有効パーセント (有効回答449)
エイズへの興味	213	47.4
検査への興味	95	21.2
感染者への興味	105	23.4
内容への興味	45	10.0
誘われたから	174	38.8
出会いの要素	53	11.8
何となく	88	19.6
その他	34	7.5

次に、予防プログラムへの参加回数を調べたところ、表9のようになった。予防プログラムに「初めて参加」する者が 61.3% (N=261) と最多であるが、繰り返し参加する者も 38.7% あり、エイズ教育の初心者と啓発事業に従事する可能性もある中堅層とが合流する動きが伺える。

表9【予防プログラムへの参加回数】

	N	有効パーセント (有効回答426)
初めて	261	61.3
2回目	78	18.3
3回目以上	87	20.4
欠損値	28	
合計	454	

また、予防啓発プログラムは、対象層の文化やニーズと合致して提供されることによって、予防情報を効果的に伝えられるものであると考える。そこで、コミュニティ構成員のエイズをとりまく行動を推測するためのデータを調査した。

本年度は、検査を受けた経験と、感染者の知り合いがいるかどうかについて調査したところ、表 10、11 のようにほぼ半々であった。なお、受検回数は、0回～20回まで幅があり、平均は、1.2回 (N=425、SD=1.982) であった。

表 10【受検経験の有無】

	N	有効パーセント (有効回答426)
受検経験なし	207	48.6
受検したことがある	219	51.4
欠損値	28	
合計	454	

表 11【感染者の知り合いがいるか】

	N	有効パーセント (有効回答430)
はい	148	34.4
いいえ	282	65.6
欠損値	24	
合計	454	

知り合いに感染者がいるという人は、34.4% (N=148) にも及んでいることが分かり、同性愛者間の感染増の傾向が見られていた。

また、予防介入1ヶ月後に、プログラムのことやプログラムで得た知識や情報について、誰かに伝達しているか (二次的普及) についての調査をしたところ、結果は表 12 の通りであった。なお、普及した人数の平均は、6.18 名 (N=119、SD=7.242) であった。

表 12【介入後1ヶ月の普及状況】

	N	有効パーセント (有効回答中)
友だちに話した	93	72.1
知り合いに話した	48	37.2
セックスパートナーに話した	20	15.5
誰にも話していない	15	11.6

### 3. MSM の性行動の実態とネットワークの評価・分析

#### (1) リスク行動の定義

同性愛者の性行動とネットワークの関係についてみていくために、性行動のうち、リスクのある性行動については、以下の3項目での定義を行った。①ドラッグを使ったセックス、②コンドームを用いないアナルセックス、③コンドームを用いないオーラルセックス(口内射精をされる)である。

なお、18年度の実態調査では、①ドラッグを使ったセックスについては、表13のような実態が確認されている。

表13【ドラッグを使ったセックス】

	N	有効パーセント (有効回答426)
全くない	253	59.4
あまりない	76	17.8
ときどきある	81	19.0
よくある	16	3.8
欠損値	28	
合計	454	

#### (2) 3年度の調査の縦断分析

平成13年度のリスクアセスメント調査をベースライン調査とし、予防啓発プログラムを行った15、16、17年度の数値を比較した。

比較した対象データの年齢(平均、最大最小値、年代別の推移)は、以下の表14、15の通りである。

#### a) 基礎データ

表14【対象者の年齢推移】

	N		平均値	標準偏差	最小	最大
	有効	欠損値				
17年度	470	43	29.94	7.94	18	52
16年度	272	16	31.23	7.98	16	71
15年度	244	3	29.52	6.78	18	52

表15【対象者の年代推移】

	15年度	16年度	17年度
10代	13	9	19
20代	116	107	223
30代	100	118	178
40代	12	30	39
50代	3	7	9
60代	0	0	1
70代	0	1	1

表16【対象者の居住地の推移】

	15年度(%)	17年度(%)
北海道	19.5	6.9
東北	0.8	6.3
関東	58.8	46.4
東海	0.8	5.3
北陸	0.4	0.0
関西	0.0	7.2
中四国	19.5	14.1
九州沖縄	0.0	10.8

#### b) 感染知識

知識については、表17~18のような結果となった。また、性行動の正答率の変化を表したグラフが、グラフ1である。

表17【感染知識(体液)の正答率】

	15年度	16年度	17年度	ベースライン
血液	97.6	94.4	95.5	98.5
汗	93.9	96.2	94.9	98.5
膣びっつ液	70.0	72.9	69.7	70.5
だ液	81.4	81.6	82.1	79.8
精液	96.0	94.1	95.1	96.5
先走り液	76.1	78.1	74.7	
涙				97.1

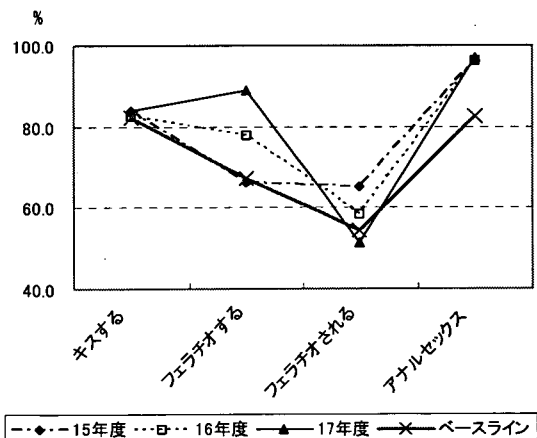
表18【感染知識(性行動)の正答率】

	15年度	16年度	17年度	ベースライン
キスする	83.8	82.6	83.9	82.4
フェラチオする	66.0	77.8	88.8	67.2
フェラチオされる	65.2	58.3	51.5	54.5
アナルセックス	96.4	96.2	96.9	82.7

表19【感染知識(部位)の正答率】

	15年度	16年度	17年度	ベースライン
肛門の中	96.0	95.5	95.3	95.9
ペそ	91.9	95.1	95.1	97.7
口の中	81.0	78.1	76.2	74.2
亀頭	55.5	62.8	61.1	53.7
尿道口	78.1	79.2	74.3	74.8

グラフ1【性行動の正答率変遷のグラフ】



3年度の比較により、同性愛者、MSMの感染知識の持ち方の傾向が明らかになった。

また、変化としては、アナルセックスについての正答率、フェラチオする（口内射精）についての正答率が上昇していた。一方、ベースライン時点で確認されていた地域差については、17年度時点では特に確認されなかった。

### c) 参加のきっかけとなる媒体

プログラムに参加するきっかけとなる情報を得たのがどこからであるかについて、3年度の縦断比較を行った。その結果、表20のようになった。

表20【媒体の選択数と割合】

	17年度	16年度	15年度
ちらし	368(74.9)	71(24.7)	121(53.3)
インターネット	89(18.1)	42(14.6)	62(27.3)
ゲイマガジン	30(6.1)	5(1.7)	22(9.7)
口コミ	240(48.9)	170(59.6)	123(54.2)
その他	8(1.6)	39(13.5)	14(6.2)

( ) 内は年度内全体に占める割合

### (3) 性行為のセイファー度による比較

平成17年度の予防啓発介入前における質問票調査のデータ（プレテスト、N=513）をもとに、リスクのある性行動をとる人とそうではない人との間に、どのような差がみられるか、を分析した。

性行動については、その性行動をする頻度がよくある(4)～まったくない(1)までの4点式リカートスケールで測定している。質問票調査では、相手の特定、不特定を分けて、先述したリスク行動について、4つの回答を得ている。

そこで、リスク行動の合計の分布を確認したところ、1点～15点に分布していることがわかった。

そのうえで、セイファー群(1～3)、中間群(4～6)、リスク群(7～15)の3群に定義し、3群間の回答内容の差を分散分析（多重比較、 $p < .05$ ）により行った。

その結果は、添付資料表D・Eのようになった。感染知識に着目してみると、表21のようになっており、リスク群は、セイファー群や中間群に比べて、有意に保有する知識が少なかった。

表21【感染知識の3群別得点】

	セイファー群	中間群	リスク群
体液知識	5.37	5.19	4.72
部位知識	3.96	4.16	3.86
行為知識	4.28	4.14	3.93

また、性行動関連の設問での回答は、表22のような得点差となった。「出張・旅先でのセックス」経験は、リスク群が他の2群よりも有意に多く、「セックス時の薬物使用」でリスク群はセイファー群よりも有意に多くなっていた。しかし、「受検経験」では有意な差は認められず、「コンドーム携帯」は、セイファー群と中間群の間でのみ有意差が認められた。

表22【性行動の3群別得点】

	セイファー群	中間群	リスク群
出張・旅先セックス	0.31	0.53	0.65
セックス時薬物使用	1.52	1.92	2.26
受検経験	0.49	0.59	0.55
コンドーム携帯	2.21	2.64	2.42

なお、3群それぞれの年齢を比較すると、セイファー群が30.95歳（SD8.17）、中間群が30.44（同7.97）、リスク群が28.17歳（同6.88）と、リスク群は他の2群に比較して有意に年齢が若かった。

次に、その個人のもつソーシャルネットワークの状況との関係をみてみた結果は表23の通りであった。コミュニティの利用については、「出会い系のPCサイト」「出会い系の携帯サイト」を利用している者は、リスク群が中間群よりも有意に多かった。

また、友だちを作るといった積極的なネットワークに功を奏している場についても尋ねたところ、ゲイの間で流行するソーシャルネットワークサイト「ミクシィ」を利用する者でも、セイファー度が下がるにつれ、利用度があがる、という有意な傾向がみられた。このほか、直接顔の見える交流ができ、趣味などの共通項を通じた関係を作ることができる「サークル」で友だちを作ると回答した人は、セイファー群が、中間群や、リスク群よりも、利用度が有意に高くなっていた。

表 23【ソーシャルネットワークの3群別得点】

	セイファー群	中間群	リスク群
出会い系PC	0.20	0.24	0.36
出会い系携帯	0.23	0.27	0.40
ミクシィ	0.25	0.31	0.39
友だちいない	0.04	0.02	0.03
サークル	0.34	0.32	0.18

次に、コミュニティへの関与度合いを、コミュニティの利用施設数と、友だちを作る場所数で把握し、セイファー度で比較をした結果、表 24 のようになった。

友だちを作る場所数は、利用施設数よりは少なく、3群間の差は有意な傾向にとどまった。一方、利用施設数では、リスク群が中間群より、中間群はセイファー群より、有意に多くなっていた。

表 24【コミュニティ関与度の3群別得点】

	セイファー群	中間群	リスク群
利用施設(合計)	1.96	2.35	2.80
友だち作る場(合計)	1.83	2.13	2.12

(4) コミュニティ関与度調査

コミュニティへの関与度について、コミュニティ利用施設状況を確認したところ、「ゲイバー」の利用者が 377 名（全体の 73.5%）と最多で、ついで 185 名（36.1%）が「ゲイナイト」、「出会い系携帯サイト」が 134 名（26.1%）と続き、MSM の複雑なコミュニティへの関与状況が確認できた。（表 25）特に、予防啓発プログラムの会場（ゲイバー）を普段利用しない層に対しても、表 26 のように、介入がなされた。

なお、利用施設数からは、表 27 のように、普段どこにもアクセスしていない層 30 名（5.8%）、クロス分析により、バー以外の施設しか利用しない層 37 名（8.0%）にも介入していることが確認された。

表 25【施設利用状況(17年度)】

	N	%
ゲイバー	377	73.5
ゲイナイト	185	36.1
サウナ系ハッテンバ	99	19.3
マンション系ハッテンバ	67	13.1
BOX系ハッテンバ	43	8.4
野外系ハッテンバ	32	6.2
出会い系PC	120	23.4
出会い系携帯	134	26.1

表 26【ゲイバーの利用有無×他施設の利用】

利用施設	ゲイバー利用しない		ゲイバー利用する	
	N	%	N	%
ゲイナイト	13	11.4%	172	45.6%
サウナ系ハッテンバ	14	12.3%	85	22.5%
マンション系ハッテンバ	13	16.5%	54	14.3%
BOX系ハッテンバ	5	6.3%	36	9.5%
野外系ハッテンバ	3	3.8%	22	7.7%
出会い系PC	24	30.4%	94	24.9%
出会い系携帯	20	25.3%	110	29.2%

※%はゲイバーを利用しない層のうちの、利用する割合

表 27【利用施設数】

	N	%
0施設	30	5.8
1施設	126	24.6
2施設	127	24.8
3施設	85	16.6
4施設	44	8.6
5施設	31	6
6施設	9	1.8
7施設	3	0.6
8施設	1	0.2
欠損値	57	11.1
合計	513	100

4. コミュニティ開発・教育手法の計画立案

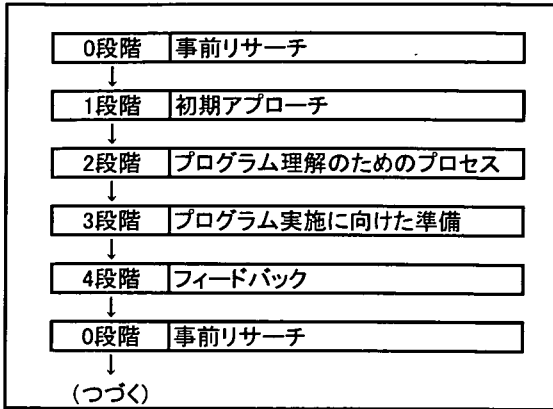
コミュニティと行政との連携を可能とするために、①外部からコミュニティにアクセスする手法の整理、②コミュニティ内部の教育支援、③行政と地域コミュニティとの連携への支援を行った。

(1) コミュニティ・アクセス手法

啓発プログラムの実施にあたり、各地域コミュニティへのアウトリーチ実施事例を分析した「協力関係構築の5段階モデル」(図1)をもとに、各段階にあわせたアクセスを実施した。

その結果、0段階：15回、1段階：45回、2段階：23回、3段階：30回、4段階：9回、合計122回のアクセスを実施した(添付資料、表F)。

図1【協力関係構築の5段階モデル】



(2) コミュニティ・エンパワメント教育

コミュニティ内部の教育支援では、教育手法が確立されることで、各地域のコミュニティにおいても、行政と連携することのできる自立的に機能するネットワークを構築することを目標としている。

本年度はプレ実施という位置づけで、都内近郊の同性愛者を対象に5回の教育プログラムを実践した。このプログラムでは、HIVの知識、セイファーセックスの実践方法、主体的に性行動変容を肯定できる雰囲気とノウハウを持つネットワークの構築を試行した。実施状況は表28の通りである。

表 28【コミュニティ・エンパワメント教育実施状況】

実施時期	内容	参加者
1 5月14日	同性愛とHIVに関する映画の上映会、上映後のトークセッション	36
2 6月25日	同性愛とHIVに関する映画の上映会、上映後のトークセッション	38
3 6月29日	フォーカス・グループ・セッション「コミュニティ・ビギナーとセイファーセックス」	11
4 7月14日	セッション&啓発イベント「HIV予防」	16
5 8月12日	コミュニティイベント参加による啓発意識の喚起	25

教育プログラムは、セッション形式でなされ、行動変容が可能な HIV に対する態度を醸成できるよう、ファシリテーターがピアカウンセリングの姿勢を保ったまま、テーマについて参加者とともに考えていく。

第1・2回は「同性愛と HIV に関する映画の上映会」の後、トークセッションをおこない、実際の同性愛者の抱える困難やセイファーセックスの重要性について学んだ。

第3回は、実際に自分たちのコミュニティ内で主体的に性行動を決定できる規範をつくるため、コミュニティへの参加と性行動について考えるフォーカス・グループ・セッションを実施した。

第4回は、そこで得られたデータを切り口に、より正確な予防知識とコミュニティ内での啓発を個々人が意識するための教育イベントを開催した。

最後の第5回では、これまでの教育をもとに、実際のコミュニティ・イベントに参加し、予防啓発について、実践しながら考える教育機会とした。

(3) コミュニティ・行政間連携

コミュニティと行政間の連携を支援するには、両者のニーズとコミュニティ側の資源状況、動機におけるバランスを評価したうえで、介入する必要がある。

本年度は、行政との連絡のうえ、地域 CBO 組織と行政の連携支援を試験的に実施した。

なお、これらの連携支援事例2例（O県とS県）の記録化をおこない、研究協力者2名により、連携支援における視点が整理された。

連携支援は、①行政から、地元の予防啓発に意識をもった若者への教育を依頼されたことにより開始した。②各県の事情と行政のニーズに即して、ワークショップ形式、個別の相談形式（活動の助言）がなされた。③いずれも、重点がおかれた内容は、地域 CBO 組織の人員へのエンパワメントと具体的ノウハウの提供である。

また、これらの場合は依頼元である行政に対しても、CBO との連携についてのコンサルテーションを各3回にわたり行った。



## 5. 啓発実施者教育手法の計画立案

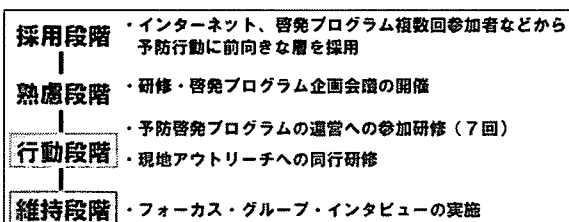
本年度は啓発実施者（ボランティア）が啓発プログラムに関わるようになっていく段階モデルを整理した。

そのうえで、各段階において、ピア教育の立場から、NPO スタッフがマネジメントを行い、知識やノウハウ、啓発の理念について調整と支援を行った。全ての研修をあわせ、のべ 308 人への教育支援を試験的に行った。

### (1) 啓発プログラムに関わる段階モデル

啓発従事者（ボランティア）が啓発プログラムに関わる段階を、対象者の行動変化の諸段階をモデル化した James Prochaska の四段階モデル（「消費者行動モデル」）を参考に、図 2 のように整理を行った。

図 2 【啓発従事の段階モデル】



### (2) 各段階の教育計画（試案）

#### ①採用段階

ボランティアをリクルートする段階である。  
インターネット利用者、これまでの啓発プログラムへの多数回参加者、パレードなどコミュニティ・イベント参加者などの中から、予防行動に前向きな層を基準としてボランティアを採用した。

#### ②熟慮段階

ボランティアが啓発プログラムの意義を理解し、またその行動を決定する段階である。

研修をかねた啓発プログラム準備段階での企画会議 105 回を実施し、その中で意義の確認と手法のレクチャーを行った。

#### ③行動段階

ボランティアが啓発プログラムの実践に携わる段階である。

各地域での LIFEGUARD 実施にスタッフとして参加し、啓発プログラムと地域コミュニティ

へのアウトリーチを経験する研修を全国各地方ブロックで計 6 回実施した。（表 29）。

表 29【行動段階の研修実施状況】

地方	日程	参加者
北海道	10月14日(土)～10月16日(月)	10
東北	10月28日(土)～10月29日(日)	5
沖縄	11月4日(土)～11月6日(月)	13
四国	11月24日(金)～11月26日(月)	7
九州	12月9日(土)～12月11日(月)	5
中国	12月23日(土)～12月11日(月)	5

#### ④維持段階

ボランティアの実践に対し評価と改良をおこない、啓発への関わりについて維持継続を促す段階である。

ボランティアへのフォーカス・グループ・インタビューを行い、啓発プログラムに従事した体験を個別にスーパーバイズした。

また、啓発実施者への HIV 知識・コミュニケーション技術研修、実地研修を 7 回、のべ 91 名に実施した。

## D. 考察

### 1. 啓発プログラム LIFEGUARD の全国各地での普及

ゲイバーを介入空間とし介入効果のあるプログラムとして完成したワークショップ型啓発手法 LIFEGUARD を、平成 18 年度は全国 6 ブロック 21 箇所を実施し、普及に取り組んだ。特に、多様な人口規模の都市での実施を続けたことと、東京都においてはさらに同性愛者の行動特徴をふまえて、複数の地区での実施を拡大したことが本年度の成果と言える。

また、LIFEGUARD は、実施のための交渉および調整段階において、コミュニティへのアウトリーチ、コミュニティ実態調査、バー経営者などオピニオンリーダーへの介入を可能とする。そのため、HIV の予防啓発において、後述するコミュニティ開発・教育を並行して実施する側面ももつプログラムである。

交渉段階、調整段階、実施段階と連関した仕組みのなかでプログラムを開催することで、「プログラム参加による効果」と「環境を整えることによる継続的な介入効果の維持」が可能となっている。

また、公共施設での LIFEGUARD の実施も継続的に 1 ヶ所行っている。つまり、最小限の整備で実施ができ、対象者が安心して集まることのできるゲイバー介入型と、行政との連携により実施する公共施設介入型の 2 種類の介入がある、ということである。この 2 形態により、自治体が事業として採用したいニーズや、地域性に合わせた啓発実施が、ほぼ全国の中規模以上の都市で可能となっている。

### 2. 質問票調査による効果評価と実態調査

予防啓発の実施と一体となって、効果評価が実施される体制がとれている。介入 1 ヶ月後に行っていた追跡調査（介入効果の持続を測定する目的）の追跡期間を延長する試みを行った。

しかし、現時点では追跡期間を延長するには新たな仕組みや条件が必要であることが伺えた。研究としては、実験的な枠組みの中で、調査への協力を促進する謝礼（インセンティブ）なども見直したうえで実施する必要があり、事業としては現状の 1 ヶ月後追跡調査で、介入効果を測定するのが現実的、と言える。

同性愛者の実態調査からは、今後、クチコミ普及（介入効果の二次的普及）を促進する条件を検討するうえで、重要な実態が明らかになった。

同性愛者が予防啓発プログラムの情報を得たルートとしては、マスな情報のやりとりが可能なインターネットを介してよりも、ちらしの受け取り、人づてという顔の見える関係を介して参加する人が多かった。対象者は、匿名性や秘密保持に配慮される環境を求める一方で、個別性のある質的關係をも重視していることが伺える。

また、今回の調査では、友人やセックス・パートナー、出会いの場の利用状況等も確認された。これによれば、予防啓発の場はゲイバーではあるが、過去半年に、参加者の 34.9% はハッテンバを利用していることがわかった。このことから、参加者のネットワークを通じて、性的な出会いの場へも効果を普及していく可能性が示唆された。

### 3. MSM の性行動の実態とネットワークの評価・分析

平成 15 年～17 年に実施した質問票調査の縦断分析からは、コミュニティ内の感染知識の保有状況が確認された。ベースライン調査で平成 13 年にみられた若干の有意な地域差はなくなり、体液や部位に関する知識は 3 年間ほぼ変わっていなかった。しかし行為に関する知識では、年度が上がるにつれ、アナルセックスとフェラチオでの正答率が上がっていた。

このことから、一般的には「予防知識」は上がりつつある状況であること、予防知識の伝達が一定進んできたことが確認でき、これまでの啓発効果があったことが伺える。

その一方、今後は、感染知識の伝達だけでなく、行動変容に結びつく介入が急がれていると考えられる。

性行為のセイファー度 3 群での比較からは、リスクのある性行動をとる人は、①出張・旅行先での性行為が活発、②薬物を使用している、③若年層、であることがわかった。この分析では、MSM 人口が集中する大都市ばかりではなく、全国各地での予防啓発がなされれば、人口移動をも視野に入れた予防が可能となる、と言える。また、薬物や若年層といった特徴からは、リスク行動との因果関係（その行動を

起こす心理機序)、それぞれの層の抱えている問題との関係など、個々のターゲットに応じた対策がとられることで、予防啓発の介入効果の向上が期待される。そのため、MSM のコミュニティ内の行動様態の把握、ドラッグ等を利用した性行為の実態、社会的脆弱性などについて、さらに調査を進める必要があると考えている。

また、コミュニティへの関与度が明らかになり、MSM のコミュニティ内施設や出会いの場の利用状況は、複雑で、それぞれの場が有機的に構成されていることが確認できた。今後はそうした動きをふまえた予防のあり方を考えていきたい。

特に、コミュニティ内での行動・参加度の高い人は Condom 携帯率が高く、たくさんの人に啓発プログラムについて話す傾向が見られている。

啓発プログラムに参加した人から、参加していない MSM に対してもクチコミ・ネットワークを利用した予防行動が普及される可能性が示唆される。

以上のことから、「コミュニティ内行動活発層」と「ネットワーク広範層」への教育アプローチを行うことが、MSM に対する予防啓発においては補足的に考えられる必要がある。

また、LIFEGUARD は、普段どこにもアクセスしていない層、バー以外の施設しか利用しない層など、MSM 間でのコミュニケーションが疎遠な「孤立層」にも介入していることが確認された。

LIFEGUARD はこれまで手に届きにくかった対象への足がかりとなる可能性があり、「孤立層」への介入手法の確立には、更なる調査（リスク行動やネットワーク）が必要となる。

#### 4. コミュニティ開発・教育手法の計画立案

コミュニティ・アクセス手法の開発では、各地域コミュニティへのアウトリーチの経験を「協力関係構築の5段階モデル」に即して記録した。

MSM・ゲイのコミュニティへの啓発にあたり、外部からコミュニティにアクセスする手法は、当該地域に啓発従事者が育っていない場合や、管轄外 NGO との連携によって、予防啓発を行おうとする場合に必要である。

今後は、本年度実施の全 122 回のアプローチ内容をさらに整理し、コミュニティの実態が見えない故に対策を策定しにくい行政にとって、

参考となる資料を提示する。

コミュニティ・エンパワメントでは、コミュニティ内の人的資源の活性化と予防啓発に肯定的なネットワークの構築を目指し、コミュニティ内部の教育支援をおこした。

都内近郊の同性愛者を対象に 5 回の教育プログラムを実践したプレ実施をふまえて、2 年度目からは、①セイファーセックスに関する知識、態度、環境、行動への教育内容を練り直すこと、②都内近郊以外での実施の検討、③教育支援手法としての評価、が求められる。

なお、この教育支援は、個人に対する教育に止まらず、予防意識のあるコミュニティ、ネットワークの構築を果たそうとするものである。

特に大都市圏以外の都市においては、限られた人的資源のなかで、啓発を担うコミュニティ人材に注目しがちではあるが、人をきちんと育て、支え、エンパワーする仕組みや体制がないと、行動変容に効果をもたらし、長期的に介入効果のある予防啓発の実施は不可能である。そのため、コミュニティとの連携で啓発を行おうとする行政にとっては、①その地域の特性を把握し、②ニーズに合った啓発の種類を検討し、③その啓発についてのノウハウを有し、人的資源の潤沢な協力者を確保することが、同性間対策の普及において、重要な視点となる。

本研究班では、管轄内にしかるべき CBO が存在しない地域や都市が多いことを受け、外部からコミュニティにアクセスする手法の整理と、コミュニティ内部の教育支援を行うことで、行政と地域コミュニティとが連携できるよう支援する方法の確立を目指していく。

#### 5. 啓発実施者教育手法の計画立案

対象者の行動変化の諸段階をモデル化した「消費者行動モデル」(James Prochaska) を参考に①採用段階⇒②熟慮段階⇒③行動段階⇒④維持段階の各段階に介入を実施し、予防行動に携わることのできるコミュニティの構成員についての質の向上と増員とを目指した。

啓発従事者教育では、コミュニティの構成員自らが啓発の開発～実施までのプロセスに関与し、その計画を具体化・実現し、そのプロセスを通じエンパワーされることが期待される。そうしたキーとなる啓発従事者が育成されることによって、将来的には各地域コミュニティが予防啓発行動を自立的に採用することにつながる、と考える。

HIV 予防啓発は継続した取り組みが肝要である。そのため、それを実現できる啓発従事者の育成は、今後ますます重要な視点であると考えられる。

## E. 結論

同性間の予防啓発プログラム LIFEGUARD の全国への普及をはかり、このプログラムを実施する前のベースライン調査（13 年度）と、15～17 年度の調査結果とを比較することで、予防啓発プログラムへの参加者の変化や傾向について確認した。

また、今後の介入に役立てるため、質問票調査により MSM の実態と性行動やネットワークの特徴を把握した。

さらに、自治体の施策と連携した啓発の担い手となるコミュニティの教育・開発手法を研究した。国内には、地域内に既存の NGO や CBO がいない地域の方が多いため、同性間対策を行うためには、コミュニティへの教育や開発が必要となってくる。教育手法については、まだ試験的实施段階であり、今後形態的、プロセス的評価を行い、内容を精査し、どの地域でも実施できるような形にしていく必要がある。

## F. 健康危険情報

なし

## G. 研究発表

### 1. 論文発表

- 1) 柏崎正雄、「国際エイズ会議の概要と日本からの参加報告」、日本エイズ学会誌、Vol. 9 No. 1、pp. 62-64、2007 年

### 2. 学会発表

- 1) Hiromi Hatogai , Kenji Shimada , Arashi Fujibe , Shoji Ota , Keizo Miyachika , Hiroshi Niimi , Kazuya Kawaguchi, Masao Kashiwazaki  
“Evaluation of Safer Sex Workshop for MSM at Gay Bars in 14 prefectures in Japan” XVI International AIDS Conference 2006
- 2) A Fujibe , K Miyachika , Shoji Ota , K Shimada , H Hatogai , H Niimi , M

Kashiwazaki , K Kawaguchi “Building Relationship with Gay Bars Made It Possible: “LIFEGUARD” , Safer Sex Workshop for MSM in 14 Prefectures” XVI International AIDS Conference 2006

- 3) 藤部荒術、嶋田憲司、嶋貝啓美、新美広、宮近敬三、柏崎正雄. ゲイを対象としたワークショップ『LIFEGUARD』普及—全国 23 ヶ所での実施とコミュニティ・アウトリーチプロセス. 第 20 回日本エイズ学会学術集会口演発表、2006 年
- 4) 嶋田憲司、柏崎正雄、嶋貝啓美、新美広、太田昌二、藤部荒術、河口和也. ゲイを対象としたワークショップ「LIFE GUARD」の効果—継続介入とクチコミ普及の分析—. 第 20 回日本エイズ学会学術集会口演発表、2006 年

## H. 知的財産権の出願・登録状況

なし